

中東情勢の影響と対応について

サカタインクス株式会社
2026年6月9日

東証プライム | 証券コード:4633

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

原材料を確保し、安定供給を継続

【調達・供給の状況】

- 当社においては、溶剤をはじめとしたインキ材料の調達に大きな影響はなし
- 「安定供給」を最優先とし、通常時と同様に安定的に出荷を継続中

【対策】

- 当社のグローバルネットワークを活かして、調達先を拡大し、原材料を通常時と同等水準で確保
- 先を見越した材料確保の交渉を、供給先と継続して実施
- トルエンの含有率を低減した当社が得意とする環境配慮型インキの提案を推進 ※appendix参照

地域	調達環境		材料調達状況
	4月	5月	
日本	○	○	大きな影響なし
アジア	△	○	一時的に影響があったものの、現在は安定して材料確保
米州	○	○	大きな影響なし
欧州	○	○	大きな影響なし

安定供給維持のため、緊急的な価格改定を実施

- 原材料価格は世界的に上昇しており、今後も上昇を見込む（2026年度上昇見込額:約150億円 ※5/31現在）

※今後の中東情勢の変化や地政学リスク、原材料価格等の動向により、業績への影響が見込まれる場合には、その内容を速やかに開示します。

【販売・価格改定状況】

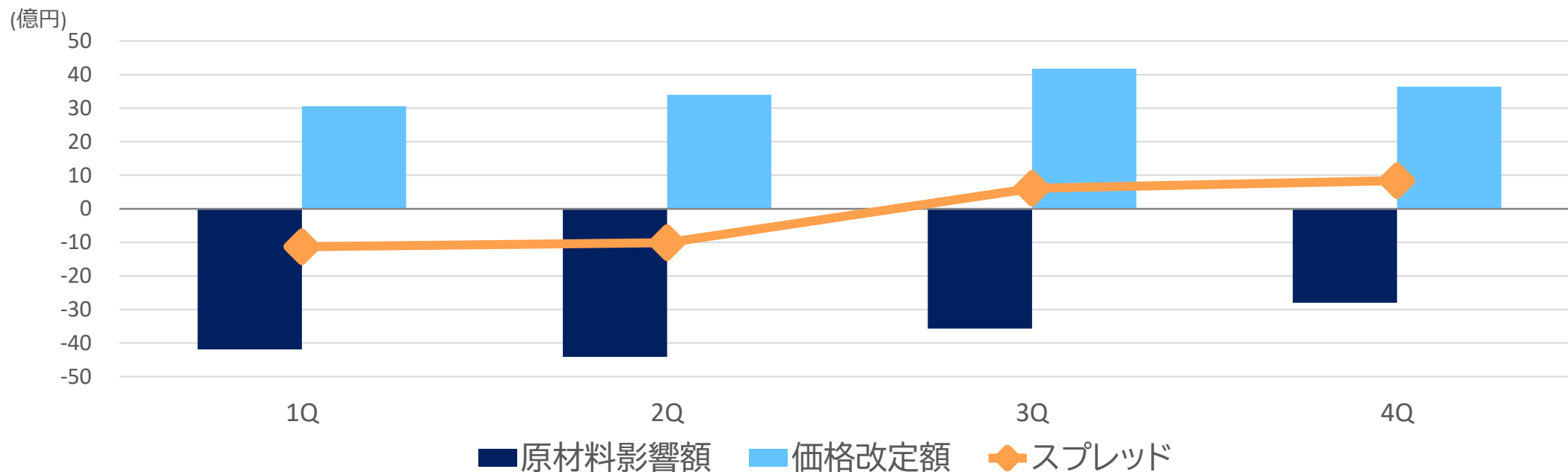
- 足元の実需に大きな変化はなく、グローバルでの販売数量は、今のところ影響なし
- 製品の安定供給を最優先とし、原材料価格の上昇分においては、販売価格へタイムリーに反映
- 現段階においては、**原材料上昇分を吸収できる見通し**のため、**通期予想を据え置き**

原材料価格の上昇と価格改定の**タイムラグを解消**

Appendix

ウクライナ問題発生時においても価格転嫁を速やかに実施

◆ 2022年度における原材料影響額と価格改定額の推移



過去の実績を踏まえ、今回はさらにタイムラグ解消を加速

— (参考) ナフサ依存度低減や環境に配慮した材料への転換

バイオマス材料やトルエンフリーへの転換促進

調達材料や調達先の多様化を進めつつ、人と環境に配慮した製品展開により
安定供給と持続的成長を図る



国内の取り組み実績例

植物由来材料への転換

パッケージ印刷用途で使用されるグラビアインキにおいて、当社主力製品で使用されているウレタン樹脂を石化由来から植物由来の樹脂へ転換を進めている

植物由来材料を一部使用した
ウレタン樹脂への転換率

2017年 → 2025年

約35%

ボタニカルインキ®の販売推進

植物由来材料を使用した当社オリジナルブランドである「ボタニカルインキ®シリーズ」の販売比率が年々上昇

ボタニカルインキ®の販売比率

2018年

2025年

約50% → 約80%

トルエンフリー製品の販売推進

パッケージ印刷用途で使用されるグラビアインキにおいて、トルエンフリー製品への販売比率が上昇

トルエンフリー製品の販売比率

2025年


約90%


SAKATA INX...

Visual Communication Technology

お問い合わせ先

サカタインクス株式会社 コーポレートコミュニケーション部

 電話 03-5689-6601

 メール inx-prir@inx.co.jp